

1 単元名 国民生活と経済  
「私たちの暮らしと経済」(全10時間)

国府町立国府中学校 松村 直樹  
岐阜市立島中学校 高橋 伸晃

2 単元のねらい

商品の価格、金融の働きを通して、市場経済の基本的なしくみを理解するとともに、職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について考察することにより、将来の職業に関心を持つことができる。  
身近で具体的な事例を通して現実の経済に対する関心をもち、さらに個人と社会との関わりを客観的にとらえ直し、その意味についての理解を深め、経済についての見方や考え方をもちつづけることができる。

3 単元で培いたい学び方

生産のしくみや流通のしくみ、需要と供給の関係などの学習をもとに、不景気な時代に生き抜こうとする企業の戦略を資料を通して考えることを通して、消費者主権をベースに企業が経済活動をしていることを理解する学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 公民的分野の内容(2)ア 「国民生活と経済」

ア 社会事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。	社会における企業の役割と社会的責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、個人や企業の経済活動の在り方について様々な立場から公正に判断している。	個人と企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、生産の仕組みのあらし、金融の働きについて理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	不景気な中、厳しい時代に生き抜こうとする企業があることを知り、どのように生き抜こうとするか関心を持ち、既習学習と照らし合わせながら追究しようとする。	地元スーパーの今後を生き抜く戦略を、様々な視点から考察し、企業の社会的な役割を捉えることができる。	地元スーパーの生き抜く戦略を追究視点から資料を選択し情報を得ることができる。	生産のしくみ、価格決定の仕方、流通のしくみ、金融機関の働き、国民経済の成り立ちなどの経済のしくみについて、地元スーパーを中心に、さまざまな事例をもとに理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	日本経済の現状が決して明るくないことをつかみ、その中で地元の株式会社(スーパー)がどう乗り切ろうとしているのか関心を持ち、その理由を予想することができる。 【第2時 感想の記述】 地元企業が売り上げ減をいってどう生き抜こうとしているか追究視点を既習内容から設定し、理由について予想することができる。 【第6時 ノートの記述】	企業は、法律に基づき消費者の安全を守ることを考慮して商品を生産し、また同時に消費者の信頼を得ることにつながっていることが理解できる。 【第3時 ノートの記述】 商品の流通経路によって価格が変わり、(A)商品の流通経路が短くなれば中間マージンが減るので価格が安くなるということを理解できる。 【第5時 感想の記述】 地元スーパーが売上を維持向上するために客を増やそうとする理由を「立地条件」「低価格」「高品質」「広告」の面から考察し、その関わりについて考察し、地元スーパーが地元消費者の信頼を得るために安全・安心を得ようとする戦略を取ろうとしていることをとらえることができる。 【第8時 発表内容】	追究視点と対応させて、資料を収集し、予想以外のことについても資料を収集し、追究できる。 【第7時 ノートの記述】 金融はお金の貸し借りをする仲立ちをしながら私たちの生活を支えており、また、企業の生産かつどうもささえていることを理解することができる。 【第9時 ノートの記述】	株式会社は、多額の資本を一度に集めることができるという利点を生かした企業形態であり、株主にも還元できるためより信用を得ることができる形態でもあることを理解することができる。 【第1時 ノートまとめ】 価格は生産量(供給量)によって変動し、消費者の求める量(需要量)の増減で調節していることが理解できる。企業においても消費者の需要の面で価格を決定していることが理解できる。 【第4時 感想の記述】 企業は単独での経営が難しい場合に合併をすることで販売網を広げていき、他企業と差をつけていながら力をつけていこうとすることを理解することができる。 【第10時 感想の記述】